

佐賀大学同窓会 鹿児島県支部定例会の報告

期日：令和8年1月17日（土）午後6時～

会場：マ・ナーナ（鹿児島市山下町5-3 宝山ホール2階）

2020年以來5年ぶりに開催された鹿児島県支部定例会に出席いたしました。

今村淳一氏（S60 卒農業土木科卒）の進行で始まり、続いて支部長上田耕平氏（S39 文理物理）の挨拶が行われた。上田氏は卒業後、多くの大学・短大の教職を経て、最終的には鹿児島大学工学部教授、学部長を歴任された。挨拶の中で自らの経験から全学同窓会のあり方に触れられ、「鹿児島大学は学部同窓会のみで全学同窓会はない。佐賀大学は小さいので全学同窓会が可能かもしれないが」と、その必要性に懐疑的であった。

来賓を代表して、山田全学同窓会長が「十五暉」、「ひまわり」（ゴッホの絵画）を絡めて、佐賀大学同窓会の歴史が長いことを話された。当日は、参加者が少なく（佐賀大学7名、鹿児島県支部9名）、年々減少しつつあるが、事務局の西村希志子氏（S52 卒農学科）の熱意で開催できたとのことであった。

当方からは、農学部同窓会は農学部との連携が強く、本年度のボヤ騒ぎにも即、見舞金を提供したり、学部との懇談会では「JAとの包括連携」や「研究室の同門会設立」を始め多くの提案を行っていることなどを発表した。

その後、「楠の葉の」等の斉唱があり、今後とも参加者を多くして定例会を実施することを誓い、閉会した。（副会長 荒木清史）

会長挨拶



全体写真



進行